

病害虫発生予察特殊報第1号

平成15年10月24日
三重県病害虫防除所

本県において、ヤシオオオサゾウムシの発生が、初めて確認されたので特殊報として発表します。

- 1 病害虫名 : ヤシオオオサゾウムシ
Rhynchophorus ferrugineus (OLIVIER)
- 2 発生確認植物名 : カナリーヤシ *Phoenix canariensis* ヤシ科ナツメヤシ属
いわゆる フェニックス
- 3 発生確認地域 : 津市
- 4 発生確認の経過 : 10月17日に津市内の住民から、フェニックスに寄生する害虫の幼虫が、
三重県科学技術振興センター農業研究部に持ち込まれました。後日現地を確認
したところ、同幼虫と同種と見られる蛹と成虫も発見され、ヤシオオオサゾウ
ムシと確認しました。

5 ヤシオオオサゾウムシとその食害による被害について

(1) 形態

オサゾウムシ科の大型種。

成虫：体長22～35mm。全体は光沢のある赤～暗褐色で全胸背面に不規則な黒紋がある。色彩変異
が大きく、全体が赤褐色または黒色の個体もある。腹部は、翅鞘末端より大きく露出する。

卵：白色で長さ2.5mm、幅1mmの長楕円形。

幼虫：幼虫は、乳白色で無脚。円筒形で腹部中央部の背面が高く盛り上がる。頭部は赤褐色で強力な
大あごを持つ。終齢幼虫は体長50～60mmに達する。

蛹：ヤシの繊維で俵状の繭をつくる。中には明褐色の蛹がおり、体長は30～40mmである。

(2) 生態

宮崎県におけるフェロモントラップの調査では、5月～11月までに年間3回程度の捕殺ピークが
あること、若干の低温に対する抵抗性があること等がわかっていますが、詳細な国内での生態はよく
わかりません。

(3) 寄主植物

国内における報告では、カナリーヤシ（フェニックス）*Phoenix canariensis*およびワシントンヤ
シ（ワシントンニアパーム）*Washingtonia filifera*への被害も確認されています。インド、東南ア
ジアおよびニューギニアでは、ココヤシ、デザートヤシおよびサゴヤシ等に寄生するヤシ類の害虫と
して知られています。

(4) 分布

国内での発生状況は、1974年～'75年沖縄本島で発見され、'97年に岡山県玉野市、
'98年に宮崎県日南海岸、'99年に鹿児島県内、2000年には福岡県能古島、今年6月には
長崎県で発見されたという報告があります。本州では、岡山県について2番目に確認されたものです。

(5) 被害の特徴

食害を受けたフェニックスを調べたところ、食害は幹最上部の内部と比較的新しい葉の葉柄部分に
集中しており、著しい食害痕と幼虫が食入した穴が多数見受けられました。食入孔は比較的柔らかい
樹冠部下の木質化した中心部位で確認される場合もありました。幼虫の食害が進むと幹最上部から伸
びる新しい葉がなくなる症状を示します。横あるいは下に向いた葉は残りますが、幹の被害（食害）
が進むと、最終的には枯れてしまいます。

6 今後の対応について

ヤシオオオサゾウムシの被害によると思われる症状が確認されましたら、農林水産商工部農畜水産
物安全確保チーム（059-224-2543）あるいは三重県病害虫防除所（0598-42-6
365）までお問い合わせください。